

ISUZU

HONDA

2023年10月17日

いすゞ自動車株式会社

本田技研工業株式会社

いすゞと Honda、燃料電池大型トラックを「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」で初公開 ～ゼロエミッションの大型トラックで航続距離 800km 以上を実現～

いすゞ自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 取締役社長 COO：南真介、以下「いすゞ」）と本田技研工業株式会社（本社：東京都港区、取締役 代表執行役社長：三部敏宏、以下「Honda」）は、10月28日（土）～11月5日（日）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「JAPAN MOBILITY SHOW 2023（ジャパンモビリティショー）」のいすゞグループのブースにて、両社が共同研究を進める燃料電池（FC）大型トラック「GIGA FUEL CELL」を初めて一般公開します。



いすゞ・Honda 共同研究車両「GIGA FUEL CELL」

いすゞと Honda は、高効率輸送（長距離走行・高積載量・短時間での燃料供給）が求められる大型トラックのカーボンニュートラル化において、CO₂ 排出ゼロの水素を燃料とする FC 技術が有効であると考えています。

両社は、2020年1月にFC大型トラックの共同研究契約を締結。FCの大型トラックへの適合性の検証や、車両制御などの基礎技術基盤の構築を進めています。今年度中にモニター車を使った公道実証実験を開始し、2027年をめどに、共同研究で得られた技術や経験・知見を最大限に生かした量産車両の市場導入を予定しています。

今回の展示車両は、都市間輸送の代表車種である「低床4軸8×4」を採用。航続距離は800km以上（いすゞ評価モード）と、大型トラックとしての実用性とゼロエミッションを両立しています。また、水素を用いる燃料電池車（FCEV）ならではのエネルギー容量の大きさを生かし、災害時等における「移動式電源」としての活用を想定した外部給電機能も備えています。

FC大型トラックの2027年の市場導入に向け、両社は、大型トラックに求められる性能や条件を満たし、お客さまに満足していただける商品開発を進めてまいります。

■ GIGA FUEL CELL 車両概要

車両	ベース車型	CYJ77C-WX 低床 4 軸 8×4
	全長/全幅/全高	11,980mm / 2,490mm / 3,770mm
	車両総重量	25t
燃料電池スタック	種類	固体高分子形 (Honda 燃料電池スタック)
	出力	103kW×4
高圧水素システム	充填圧力	70MPa
	搭載水素量	56kg
電動機 (モーター)	種類	交流同期電動機
	出力	定格 320kW
高電圧バッテリー	種類	リチウムイオンバッテリー
航続距離		800km 以上 (いすゞ評価モード)
その他装備	外部給電ポート	2 ポート (CHAdeMO コネクター) 最大電力供給量 530kWh

■ 会社概要

いすゞ自動車株式会社

本社： 神奈川県横浜市西区高島一丁目 2 番 5 号 横濱ゲートタワー

事業内容： 自動車、輸送用機械器具、原動機等の製品およびその部品ならびに関連する資材・用品の製造、販売

本田技研工業株式会社

本社： 東京都港区南青山二丁目 1 番 1 号

事業内容： 輸送用機器 (二輪車、四輪車、汎用製品など) の製造、販売

■ JAPAN MOBILITY SHOW 2023 の概要

名称： JAPAN MOBILITY SHOW 2023 (ジャパンモビリティショー)

主催： 一般社団法人 日本自動車工業会

開催期間： 2023 年 10 月 28 日 (土) ~ 11 月 5 日 (日) 【一般公開日】

※ プレスデーは 10 月 25 日 (水)・26 日 (木) の 2 日間

会場： 東京ビッグサイト

ブース No.： 東 1 ホール EC01

※ GIGA FUEL CELL はいすゞグループ (いすゞおよび U D トラックス株式会社の共同出展) ブースで展示

URL：<https://www.japan-mobility-show.com/outline/>

以 上